

# Fグループ ジョイントコンサート



## Joint Concert

2012

2012年 9月13日(木)  
山手フェリスホール

18:00開場 / 18:30開演

主催 フェリス女学院大学音楽学部同窓会(Fグループ)

後援 フェリス女学院大学音楽学部

# Joint Concert

## ごあいさつ

演奏は自分を映し出す鏡と言われます。鏡がその人のあるがままを映し出すように、演奏には自分のすべてが現れてしまいます。しかし恐れることはありません。真摯に向き合えば向き合うほど、鏡のなかの自分は輝いてきます。自分と向き合う地道な練習を積んで、自己を知り自己を乗り越える。音楽には素直に自分と対峙できる不思議な力があるのです。

本日はご来場まことに有難うございます。今後とも、同窓生たちの自己研鑽の姿にエールを送り、さらなる成長にお力をお貸しくださいますようお願い申し上げます。

フェリス女学院大学音楽学部学部長 立神 粧子

本日はお忙しい中、Fグループジョイントコンサートにご来場下さいましてありがとうございます。卒業後も勉強を続けていらっしゃる同窓生に出来るだけ多くの演奏の場を作る目的でこのジョイントコンサートが開催されております。同窓の皆様のご活躍は学校を支える力の一端を担っている事と確信しております。

ご来場の皆様にはどうぞこれからも変わらずご理解ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

フェリス女学院大学音楽学部同窓会 Fグループ副会長 濱田 祐子

### Fグループ今後の予定

2012年10月27日(土)10:00~12:00 緑園キャンパス・チャペル  
Fグループ研修会／公開レッスン

「ハイネの詩によるシューマンの歌曲」  
～ ハイネとシューマン、そしてクララ ～

講 師: 渡邊 明 (本学名誉教授・バリトン)  
受講生: 高橋仙佳(ソプラノ) 中西由佳(ピアノ)  
藤田直子(ソプラノ) 小林周子(ピアノ)  
押見春喜(バス・バリトン) 豊田華子(ピアノ)

曲 目: R.シューマン: リーダークライス 作品24より  
“僕の苦悩の美しいゆりかご” “ミルテとバラで” ほか

2012年11月5日(月)14:00~15:30 山手キャンパス6号館  
Fグループ ティータイムコンサート

「芸術は必要か」

ピアノ演奏とお話: 落合 敦 (本学教授)  
曲 目: ショパン バラード第1番  
ラフマニノフ 前奏曲作品32-12  
久木山 直 ルロイ・アンダーソン組曲  
ガーシュイン ラブソディ・イン・ブルー ほか

# Program

宍戸真知子

メソソプラノ(61回)

E.フンパーティンク オペラ「ヘンゼルとグレーテル」より  
"魔女のアリア"

E. Humperdinck : 《Hänsel und Gretel》

平野亜衣

ヴァイオリン(61回)

P.チャイコフスキー「なつかしい土地の思い出」作品42より ピアノ 漆間有紀(58回・院12回)  
メロディー

P. Tchaikovsky : *Melodie from Souvenir d'un lieu cher Op.42*

P.サラサーテ 序奏とタランテラ 作品43

P. Sarasate : *Introduction and Tarantella Op. 43*

植松美帆

ピアノ(59回・院13回)

J.ブラームス ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ 作品24

J. Brahms : *Variationen und Fuge über ein Thema von Händel op.24*

~~~~~ 休 憩 ~~~~~

江草千枝

二台ピアノ(院3回)

江草里枝

二台ピアノ(院6回)

F.リスト 死の舞踏

F. Liszt : *Totentanz*

柿本結衣

ソプラノ(56回・院10回)

G.プッチーニ オペラ「つばめ」より ピアノ 小野直子(56回)  
"ドレッタの夢"

G. Puccini : *"Chi il bel sogno di Doretta" from 《La Rondine》*

G.プッチーニ オペラ「ラ・ボエーム」より  
"あなたの愛の呼ぶ声に"

G. Puccini : *"Donde lieta uscì al tuo grido d'amore" from 《La Bohème》*

中田喜直作曲 / 渡辺達生作詞 歌をください

漆間有紀

ピアノ(58回・院12回)

ショパン バラード第3番 変イ長調作品47

F. Chopin : *Ballade As dur Op.47*

C.ドビュッシー 「ベルガマスク組曲」より 月の光

C. Debussy : *Clair de lune from Suite Bergamasque*

喜びの島

*L'Isle Joyeuse*



## 宍戸 真知子 (メゾソプラノ)

2008年フェリス女学院大学音楽学部音楽芸術学科入学。ヴォーカルコミュニケーションゼミで星野聡教授のもと舞台製作について学び、2012年2月卒業公演『ヘンゼルとグレーテル』において魔女役を演じる。同年3月卒業後、現在は専門学校 国立音楽院にて舞台全般について学んでいる。

歌い手としての経験知識はまだ未熟ですが、星野先生の指導のもと各々の持ち味を活かしたユニークな演出で大成功をおさめた卒業公演『ヘンゼルとグレーテル』より、魔女のやりたい放題のアリアを抜粋上演致します。



## 平野 亜衣 (ヴァイオリン)

福岡女学院高校音楽科卒業。フェリス女学院大学音楽学部演奏学科卒業。現在、名倉淑子氏に師事。

今日は、チャイコフスキーのメロディーとサラサーテの序奏とタランテラを演奏します。チャイコフスキーは優しく、美しいメロディーでとても綺麗な曲です。サラサーテはゆったりと伸びやかな序奏の後にイタリアに伝わる舞曲、タランテラが繰り広げられます。大好きな曲を 今日、大好きなフェリスホールで、演奏が出来て、幸せです。頑張って弾きます!!



## 植松 美帆 (ピアノ)

静岡県立清水南高等学校芸術科を経て、フェリス女学院大学音楽学部演奏学科、同大学院音楽研究科演奏専攻を卒業。在学中、学内オーディション合格者による「室内楽の夕べ」に出演。16回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール大学生の部入選、入賞者によるコンサートに出演。これまでにピアノを在原圭伊子、滝口和子、桑原淑子、佐渡千春、加藤美緒子、田村安佐子の各氏に師事。現在カワイ音楽教室講師。

六年間通い、思い出の詰まったこのフェリスホールで演奏できる機会を頂き、大変嬉しく思います。本日は在学時から長く勉強したこの曲を、精一杯弾きたいと思います。



## 江草 千枝 (ピアノ)

広島県生まれ。Music and Earth国際音楽コンクール・ピアノソロ部門(ブルガリア)第1位受賞など、数々のコンクールやオーディションに入賞。2008年リスト音楽院に留学。国内各地・ヨーロッパ等で、数多くコンサートに出演。国内外の大使館などでもリストの作品を演奏するなど、重厚感のある響きとドラマティックな表現力でリストの作品の解釈に定評がある。CDのレコーディングやラジオ番組に出演するなど多岐に渡り音楽活動に力を注ぐ。帝京短期大学講師。日本ハンガリー友好協会会員。

## 江草 里枝 (ピアノ)

広島県生まれ。東京音楽大学付属音楽高校を経て同大学を卒業。フェリス女学院大学大学院音楽研究科に在学中、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と協奏曲を協演。アジア国際音楽コンクール・ピアノソロ部門優秀賞受賞。2008年よりハンガリー国立リスト音楽院に留学。帰国後、ソロの演奏活動に加え姉とのデュオにも積極的に取り組み、アジアやハンガリーをはじめ国内外の大使館でもコンサートを行う。繊細で透明感のある音色と計算された表現力はバロックから古典派にかけて定評がある。日本・リスト音楽院楽友会会員。

グレゴリオ聖歌のテーマを幾種類の変奏を重ねて演奏していきます。様々なピアノ演奏の技巧を用いて多種多様に変化していく、強烈な印象を受ける作品になっています。ピアノの技巧を楽しんでいただけると同時に姉妹の息のあった音楽表現の掛け合いも楽しんでいただけると嬉しいです。



## 柿本 有衣 (ソプラノ)

フェリス女学院大学音楽学部声楽学科卒業、同大学院修士課程修了。大学在学中に「声楽の夕べ」、「卒業記念演奏会」に出演。第55期二期会オペラ研修所マスタークラス修了。これまでに関定子、山口久美子の各氏に師事。静岡県演奏家協会会員。二期会準会員。

本日は、演奏の機会を頂いた事をとても嬉しく思っております。皆様的心里に届くよう、心をこめて演奏させていただきます。

## 小野 直子 (ピアノ)

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒業。小林周子、福原洋子の各氏に師事。2年間の楽器店勤務を経て、現在は声楽の伴奏を中心に演奏活動を行なっている。ハタ楽器音楽教室講師。



## 漆間 有紀 (ピアノ)

フェリス女学院大学音楽学部演奏学科卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。学内オーディション選抜による演奏会のほか、読売新人演奏会、調律師協会新人演奏会、「レインボウ21」コンサート、神奈川フィルハーモニー管弦楽団とのニューイヤーコンサートなどに出演。これまでに江崎光世、山田有里子、橋高昌男、黒川浩の各氏に師事。

今回は、フランスにゆかりのある二人の作曲家の作品を演奏させていただきます。強い愛国心を持つショパンは、ポーランドの作曲家というイメージが強いのですが、後半生の大部分をフランスで過ごし、活動の拠点としていました。一方、今年生誕150周年を迎えたドビュッシーは、言わずと知れたフランスを代表する作曲家です。ショパンらしい優雅で華やかなバラード3番、「月の光は悲しくも美しい」というヴェルレーヌの詩にインスピレーションを受け作曲された月の光、色彩豊かで壮大な喜びの島。大好きな曲を大好きなフェリスホールで演奏できることをとても幸せに思います!

